



皆さんこんにちは。ハタラクカタチです！
この冊子をお手に取っていただきありがとうございます。

私たちは、庄内において若者にとって魅力のある企業を若者目線で発信するために「ハタラクカタチ」を結成し、令和元年から活動しています。

ハタラクカタチというチーム名には、「一人ひとりの働き方」と「○や△など様々な種類があるカタチ」が

掛けられており、そこで働く人々の仕事のやりがいや目的が、

一人として同じ形は存在しないだろうという想いをこめています。

この冊子を作るにあたって、コロナ禍で社会的にも大変な中、数多くの方々にご協力を賜りました。

また、庄内地区商工会広域連携協議会による「庄内地域企業見学バスツアー」にも参加させていただきました。

今年は新たなメンバーが五名加わり活動規模が広がりました。
協力してくださった企業関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。

この冊子を読んで、これから社会に出て頑張ろうと考えている若者や学生の皆さんに
庄内の企業の魅力や働いている方々の想いが伝われば幸いです。

もくじ

[社長編]

- P2 楯の川酒造株式会社
- P4 キヤド・キャム株式会社
- P6 株式会社トガシ技研

[社員編]

- P8 株式会社みどりサービス マルノー山形
- P10 本間物産株式会社 マルホンプラス
- P12 株式会社オリーブ
- P14 株式会社庄交コーポレーション
- P16 株式会社酒田天然ガス

[庄内地域企業見学バスツアー]

- P18 酒田ふれあい商工会
- P19 株式会社マルハチ
- P20 株式会社大商金山牧場
- P21 スズモト株式会社

- P22 あとがき
- P24 おすすめサイト一覧



東北公益文科大学
ハタラクカタチプロジェクトリーダー



小林 龍永

楯の川酒造株式会社



【会社概要】
 会社名：楯の川酒造株式会社
 業種：酒造業
 創業：天保3年
 所在地：酒田市山楯字清水田
 代表者：代表取締役社長 佐藤 淳平



ワーク

― 事業内容

基本は酒類の製造・販売になります。アイテムとしては、日本酒やリキュール、焼酎、マッコリなどを製造しています。それを国内外に販売するということをしています。

― 純米大吟醸の生産

今から十年ほど前、平成二十二酒造年度で切り変える前までは純米酒、本醸造、純米吟醸、大吟醸など色々な種類のお酒を作っていました。蔵のカラーを海外の方にも伝えるために、生産を純米大吟醸に絞りました。結果、蔵を代表する人気商品となり、お客さんから良い評価を受けています。



佐藤 淳平さん

酒田市出身。東京農業大学応用生物科学部醸造科学科に在学中、楯の川酒造の6代目蔵元・代表取締役役に就任した。

最近の趣味は音楽やドラムの演奏。何事にも失敗を恐れず前向きに挑戦している。

*酒造年度とはお酒の製造工程の区切りのこと。

― 従業員について

皆さん元サラリーマンなどですね。半分くらいはお酒が好きで何かお酒に関わる仕事がしたいって入ってきた人。残りの人は家が近くて出勤しやすいとかなんじゃないかな。

― 職場の雰囲気づくり

私は社員の仕事に対して、基本的に口を挟むことはありません。社員の方々は働くにあたり、自分で考えて行動してくれます。「どうぞ、どうぞ。ご自由にやってください。会社はただの箱です。」という感じですね。

― 食材のこだわり

山形県産のものを使うというコンセプトなので、プロダクトに関しては地元のものにこだわっています。

― 思い入れのある商品

私が独断と偏見で商品開発して作っているのですが、精米具合1%までこだわったお酒に関しては思い入れがありますね。

― 失敗してしまことは

失敗はいっぱいあります。成功の方が少ないです。私の考え方として、とりあえずやってみて、やらずに悩むよりはやってみてから考えようという感じで、全てにおいてとりあえず飛び込みます。

― 学生におすすめのお酒

日本酒に限らず色々なお酒を飲んでいただいて、大人になってから日本酒を飲んでいただくのがいいと思います。無理に飲む必要はないと思います。

ライフ

― 学生時代について

バイトしかしてこなかったですね。大学三年生で名前だけ社長になって、できるだけ親に頼らないように自分で稼いでなんとかしようというのがあって、バイトをしていたというのがあります。

― 大学生に向けて

皆失敗することは怖いですがね。仮に失敗したと思うようなことでも、そのやり方がたまたま駄目だったと捉えれば別に失敗じゃなくて、次のステップになります。大学四年間は非常に大事だと思うので、大学生の時にしか出来ないことをやってほしいと思います。

― 後悔しない生き方を

いつ死ぬか分からないですけど、生かされている時間を上手く使ったか使わなかったかの話であって、最後まで死ぬかというところだと思っています。後悔無く満足して死ぬのか、あれやっとならば良かったと思って死ぬのかだったら私は前者が良いなと思うので。



#取材中の様子

― プランチャーを感じた理由は

無いですね。事業継承したときは、売上三千万で社員が三人で借り入れが三億くらいありましたけど、結局失う物は何もなかったのが好きにできました。伝統があるという意識もなく自由気ままにやってきたという感じです。



#工場内、酒米を発酵中



#集合写真をパシャツ

Misato's Voice



2年 佐々木 美里

何事にもチャレンジしていく精神が大切だと思いました。また、「会社はただの箱」という言葉がとても印象に残っています。後悔しない生き方を決めるのは自分であり、日頃から目標を持って生活していきたいと思いました。

キヤド・キャム株式会社



【会社概要】
 会社名：キヤド・キャム株式会社
 業種：建築設計業、建築業
 設立：昭和47年3月7日
 所在地：鶴岡市大宝寺字日本国
 代表者：代表取締役社長 齋藤 士郎



齋藤 士郎さん

鶴岡市出身。平成元年に入社。平成16年に社長に就任する。会社に連れてくるワンコ1匹と、家にいるニャンコ3匹と遊んでいる。電気関係の作業が好きで、会社のパソコンは全て齋藤社長による自作のもの。

ワーク

― 事業内容

うちは床設計に特化している会社です。ただ、ゼロから作るわけではなくて鉄骨図という柱と梁の図面は他社で作っていただき、床をうちで設計します。

― 社長になるまでの経緯

大学を卒業して初めは地元の工務店に就職しました。その後、平成元年にキヤド・キャムに入社しました。しばらくして先代のオーナー社長が急逝し、会社色々と問題を抱えていたので、そういった問題が解決してから社長になりました。まあ、大変なことたくさん経験しましたけど楽しかったですね(笑)

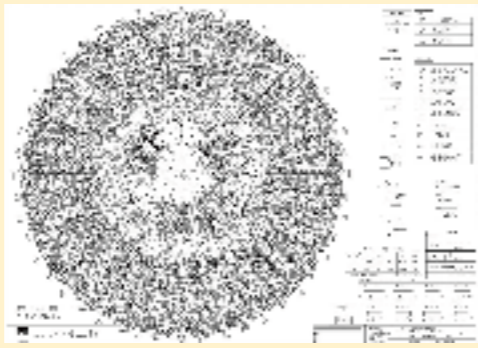
― 女性中心の環境にした理由・影響

女性がいると生産性も上がるんですよね。スカイツリー展望台の図面も女性社員が描きました。図面を完成させるまで二日くらいです。それ以上時間がかかると赤字になります。私達の仕事はスピードと正確さがとても大切で、間違える

― 入社してからの流れ

うちではオートキヤドというソフトを使用して設計しており、その使い方を一週間ほど教えます。そして、基礎的な部分ができるようになったら実際に図面描きに入ります。最後に描いた図面をチェックマンという係がチェックをして図面が完成するという流れです。文系も理系も関係なく、働く中で必然的にスキルアップします。

と最悪、人命に関わります。正確でありながら速く仕事をこなすのは、女性の方が向いているかもしれないと仕事を見ていて思います。まだまだ建築業界は男性が凄く多いので、これからどんどん女性が活躍して欲しいです。



#スカイツリー展望台床設計図

― 他社と比べて強みは何か

競合他社ってそれほど多くはないです。床設計は建築じゃないって言われたらそれまでなんですけど、私が社長になってからは、お客様から依頼を丸投げされても「キヤド・キャムなら大丈夫」と安心して任せてもらえる会社をとにかく目指してきました。長年のノウハウから、どんな細かい要望も全部応えるというスタンスが強みだと思います。

― 社員との関わり方

社員には私を社長と呼ばせていません。社長の役割はミスがあった時に先頭に立って謝りに行くもので、一段高くと構える必要はないと思っています。コロナ前は休憩時間に野球や卓球をしていました。仕事上の関わりがなくてもコミュニケーションを取れるよう、自分から関わりを持つようになっています。

ライフ

― 学生時代の思い出

大学の頃は山道を車で走るラリーをしていました。あとは車がいじれたので色々いじりまくってました。ある時は線がショートして、火が出た時もありましたね。(笑)車は好きで学生の頃には中古車を買ってよく乗り回していました。その時は軽井沢によく行きましたね。



#鉄筋付きデッキプレート*

*デッキプレートとは積載荷重や固定荷重を支える構造材のこと

― 今の学生に伝えたいこと

一生懸命遊んだ方がいい。今の子どもみんな大人しいというか、枠をはみ出さない感じがします。良いことなんだろうけど、どこかつまらないんですよね。トラブルメーカーみたいな子が居てもいいなって思います。

Ryuei's Voice



2年 小林 龍永

齋藤社長自ら社員さんと交流を持つように心掛けているからこそ、会社全体の働きやすい環境が生まれるのだと感じました。一つの事を極める姿勢を見習い、私もこれからの学生活動に活かしていきたいです。

株式会社トガシ技研



【会社概要】

会社名：株式会社トガシ技研
業種：機械設計業、機械製造業
設立：昭和63年11月
所在地：鶴岡市丸岡字町の内
代表者：代表取締役社長 長谷川 靖和



長谷川 靖和さん

鶴岡市出身。代表取締役社長。趣味は魚釣りをすること。学生時代はバスケット部に所属し、毎日練習に励んでいた。大切にしている言葉は、「誰かがやっていることは、自分もできる」

ワーク

― 事業内容

自動車部品を作る生産ラインの機械の設計・製作。また自動車関係だけでなく、ハウスメーカーや重機メーカーの生産ラインで使われる機械の製造、様々な業種のニーズに合わせた部品設計なども行っています。

鶴岡の本社工場、藤浪工場に加え、横浜と中国にも事業所を構えています。

― 産業用ロボットの製作について

主に自動車の車体を溶接するロボットを作っています。大手ロボットメーカーが製作したベースのロボットを各仕様に合わせて設計・製作・組立まで行っています。この設計から組立までトータルにワンストップでお客様に提供できるところが我社の売りです。

また、お客様が求める生産ラインの設計からシミュレーションまで行うなど業務を展開しています。

― トガシ技研の特徴

社会全体でみると多くの企業が親子関係の間柄で社長職に就きますよね。でも私の場合、血縁関係などなく社長になりました。それは他の社員や役員も同じで、血縁関係なく公平に能力を判断して選ばれています。

お給料については、プロ野球選手と同じ年俸制です。毎年一回社員と面接をして交渉を行います。会社側から提示した給料に対して、社員がサインできるか判断する仕組みです。お給料は個人の能力や経験などをもとに評価し決定しますが、社長としては会社の利益と社員への評価のバランスを考えなければならぬ

いので大変です。

事業内容についても、従来の業務にとらわれず医療分野で役立つ便利グッズなど様々な分野、業種に対応できる技術力があります。それぞれの用途に合わせて、毎日違う仕事をしているということもトガシ技研の特徴ですね。

― 成功への秘訣とは

私は「誰かがしていることは自分もできる」と考えています。一見難しそうに見えることも実際にやってみると、意外とできるので、何があるかと全力で取り組むことが成功への秘訣だと思っています。

― 「コロナ禍」での取り組み

コロナウイルスが流行し、マスク不足が深刻になった一昨年(六月〜七月)にマスクを作ることを決断しました。最初はマスクがどうやって作られているか全くわからない状態でした。コロナ禍で中国にも行けなかったですし、中国の事業所から送られてきた画像を見て発注して、機械を輸入してみたら全然話にならない。改良してはやり直しての繰り返しでした。とても大変でしたが、なんとか完成することができました。

また同時に足踏み式消毒用スタンドの製造にも取り掛かり、マスクとともに販売を開始しています。

― 働くうえで必要な資格

資格をもっていないからと言って仕事ができないということはありません。唯一、トヨタの工場で機械を操縦する時に、建設業の資格が必要ですが、基本的に資格がなくても働けます。文系大学から入社した社員もいますし、私も工業系出身ではありませんので、やる気があればやっていけます。



#記念撮影

― 会社の展望について

次の世代に繋いでいく事です。私が社長になってからももう十三年になります。しかし、大手の会社さんだと二十代くらいの若い方がメインの仕事をされてい

ることもあるので、我々も若い人材に世代交代して継いでいかなければと考えています。

ライフ



― 学生時代の思い出

バスケットボールですね。朝六時から夜九時くらいまで毎日練習していました。大会と重なって修学旅行にも行けませんでした。厳しい環境で頑張っていた経験があるからこそ、今でも並大抵の困難は乗り越えられるのだと思います。

― 休日の過ごし方

子供が五人いるので、休日はほとんど子供の面倒を見ている。今はあまり自分の趣味に時間が取れないので、早く自分の時間が取れるようになりたいですね。(笑)

― 庄内の魅力とは

やはり食べ物是非常に美味しいと思います。誰でも、生まれ育った土地のものを食べるのが一番美味しいんだと思います。出張で様々な場所に行った際に、庄内は全国と比べても美味しい食べ物があると感じました。

Momoka's Voice



1年 柿崎 百花

「誰かがやっていることは、自分もできる。」という言葉が印象的でした。その信念と仕事に対する情熱が高い技術力を生み出しているのだなと思いました。

勉強は自分の努力次第で、できますが、仕事は一人で頑張るだけでなく、チームで連携して行うため、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。



【会社概要】

会社名：株式会社みどりサービス
 業種：食品加工・製造
 所在地：酒田市砂越
 設立：平成18年6月27日
 代表取締役社長：吉村 俊一



ワーク 

― 事業内容

山形県産にこだわった調味料、果実酢、甘酒などの発酵食品全般を製造・販売する会社です。地域の多様なニーズに応えるため、製造部と営業部が連携して、事業を行っています。

― 業務内容

醤油やつゆ関係のろ過業務と工場内の清掃を行っています。醤油の生揚げの段階ではまだ食べられないので、醤油をろ過して綺麗にすることで、醤油が口に入った時の不純物を無くす作業をしています。製造課ではろ過の他にも生成、詰め込みといった業務があります。



青塚 達彦さん

酒田市出身。東北公益文科大学第5期卒業生。食品部製造課に所属していた。勤務年数は12年。趣味は野球と釣り。大学時代には硬式野球部で野球に勤しんでいた。

― 新商品開発は

どちらかというと社長に「できんなんが？」と聞かれて、社員がやってみるという感じですね。そこから試作して良かったら全体の意見を聞いて進めていくという感じです。



#取材中の様子

― 大変なことはなんですか

清掃ですね。梅雨の時期ははじめめているので、床にカビなどの菌が発生しないように掃除します。カビの多い時期はいかに製品の菌数を減らして、安心、安全な製品を届けられるかというところが大変なところですね。

― 思い入れのある商品は

地元の小売店と共同開発した豚井のたれですね。当時の開発担当者が「できねがと思った」と言っていたのを思い出します。試作の段階で甘くしたり、しょっぱくしたりなど五十回以上試して、やっと意見がまとまり無事発売できた商品です。

― お客様の意見から作られた商品

「赤ネギ調味みそ」という商品ですね。平田の赤ネギを使用して、うちで作っている味噌と混ぜて赤めの調味みそを作りました。お客様の意見は貴重なので、どんな意見でも頂ければ本当にありがたいです。
 ※赤ネギ調味みそは販売終了しました

― 地産地消を意識している


基本的に山形県内の食材を使って商

品の製造と開発を行っています。特に庄

内は海、山、川の自然に囲まれているので、食材には恵まれていると思います。例えば、めんつゆを開発した際も庄内で採れた魚を使って作るなど、食材が豊富なので使う食材の選択肢も広がります。



#お仕事の様子

ライフ 

― 学生時代に頑張っていたこと

人とたくさん話してほしいですね。なるべく多くの人と触れ合って、色々な人間がいるということや学生のうちに経験した方が良くと思います。色々なタイプの人と対等に話す技術が身につくと思うので、たくさんの人と関わってほしいです。あとは学生の自由が利くうちにたくさん遊ぶことですね！

― どんな若者が出てきてほしいか

素直であってほしいなと思います。人と関わるうえで素直な人間というのは相手に受け入れられやすいですし、相手もこれ教えてあげようかなってなりやすいので。でも違うことは違うと言える、素直でありながら芯の強い人間であってほしいですね。

― 青塚さんにとってハタラクとは

連携プレーですね。製造部がつくった商品を営業部が小売店やお客様に紹介し販売に繋げる。それぞれの役割が一つ一つバトンを繋いで最終的に販売という形に繋げるということが、ハタラクのかなと思います。



#飲むお酢
#試飲させていただきました

＼Haruka's voice／



2年 鈴木 遥

試行錯誤を繰り返しながら商品開発することで思入れや、やりがいのある製品が開発できるのだと感じました。梅雨の時期の清掃など、仕事には大変なこともあるので、忍耐力が必要なのだという事も学びました。



#記念写真

本間物産株式会社 マルホンプラス



【会社概要】
 会社名：本間物産株式会社
 業種：小売業
 設立：昭和63年3月
 所在地：遊佐町比子字白木
 代表者：代表取締役社長 東海林 誠



かなどう 叶堂 宏典さん

酒田市出身。東北公益文科大学第1期卒業生。趣味はスポーツ観戦。
 マルホンカウボーイ酒田店、宮城県白石市の店舗で経験を積み、三川店で店長を務める。令和3年5月よりマルホンプラスエスモール店の店長に就任。

ワーク

― 事業内容

本間物産株式会社は遊佐町に拠点を置き、マルホンカウボーイやマルホンマートなどを山形県内に七店舗、県外に十七店舗のスーパーマーケットを展開している会社です。マルホンプラスはそれらの系列店として、令和元年に鶴岡市エスモールにオープンしたお店です。



#取材中の様子

― 業務内容
 お店の売り上げ管理や従業員の業務管理・サポートをしています。また一担当者として、他部門の担当者や切磋琢磨しながら、お客様の期待に応えられるような店舗を目指して頑張っています。

― 従業員との関わり方や職場の雰囲気
 で心掛けていること

従業員が働きやすい環境にしてあげたいと思っています。一日のうち、家にいる時間よりも職場にいる時間の方が長い人もいますので、その時間を嫌な思いで働いて欲しくないなと思います。青果や精肉の部門は就業時間のほとんどを加工場だけで仕事をしているので、毎日自ら顔を出すようにすることで、従業員とコミュニケーションをとることを心



#お仕事の様子

掛けています。従業員が気持ちよく働けるような職場にできればいいなと常々思っています。

― 仕事のやりがい

入社した頃は、朝早くから商品を陳列して閉店するときには商品が売れてなくなっていることにやりがいを感じていました。店長になってからは、売り上げが目標に達していたら、汗水垂らして頑張ったことへの評価だと思おうので、そういった部分にやりがいを感ずるようになりました。やっぱり何十年も務めているとやりがいの中にも変化が生まれてきますね。

「この量食べれる?」「食べきれないよ(笑)」と家庭の話も聞かえてきます。面白いのが楽しいと思ってもらえる企画やコラボレーションができるのはうちの強みだと思います。

ライフ

― 学生のうちに大切にすべきこと

絆を大事にしてほしいです。先輩後輩、友人、恋人といった人との絆や、時にはこの人だけには負けないぞと思えるライバルとの絆。そしてそう思える人との出会いを大切にしたいと思います。それが自分の財産となると思うので。

― 大学時代の思い出

私は公益大の一期生で、先輩もいなくて大学の歴史もない中で的大学生活でした。当時の学長から学んだ、「公益とは何か」という一回目の授業を今も鮮明に覚えていますね。あの頃は自分たちが公益大の歴史を創らなければと思っていたので、真剣に講義を聞いていました。

― 社会に出ていく学生に向けて

社会に出てまず最初に求められるのはコミュニケーション力と、協調性だと



#コストコの商品

― お客様に喜んでもらうための工夫

お客様に面白い物を楽しんでほしいと思いい、コストコフェアをしています。初めて見る大きいサイズの商品に驚かれ



#かわいいポップが沢山

― 叶堂さんにとってハタラクとは

職場の仲間との出会いや、お客様との出会い、様々な出会いの中で自分の人間力を養うことだと思います。人それぞれ考えを持っていて、時には考え方の違いからぶつかることもあるかもしれません。そういった場面ではお互いの考えをしっかりと伝え合い、行動に移せるように常にベストなことを考えなきゃいけないのがハタラクということだと思います。

＼Kotone's Voice／



2年 長谷川 琴音

来店されるお客様の年齢層を考慮して商品を入荷したりイベントを行ったりなどお客様を第一に考えていて、仕事に対する熱意を感じました。

ハタラクとは常にベストなことを考えること、という叶堂さんの言葉が印象に残っています。今はその準備期間として、自分の意思を伝える仲間づくりを意識していきたいと思いました。

株式会社オリブ

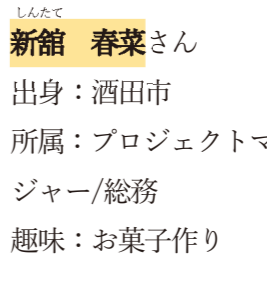


【会社概要】

会社名：株式会社オリブ
 業種：映像制作事業、写真撮影事業、
 Web サイト・マーケティング事業
 設立：平成 23 年 10 月 11 日
 所在地：山形県酒田市新橋
 代表者：代表取締役社長 橋本道春



工藤 佐規子さん
 出身：酒田市
 所属：取締役/ディレクター
 趣味：仕事、音楽
 (特に「THE FIRST TAKE」が好き)



新館 春菜さん
 出身：酒田市
 所属：プロジェクトマネージャー/総務
 趣味：お菓子作り



小野 望さん
 出身：酒田市
 所属：デザイナー/SNS 関連
 広報
 趣味：ペットと遊ぶこと



1年 工藤 真純
 皆さんが楽しんで仕事をしているということがわかりました。
 楽しんで仕事をするというのは、言葉にするのは簡単ですが、中々できることではないと思います。皆さん多くの苦労や経験が積み重なって、素晴らしい会社が出来たのだと感じました。私も将来のために、色々なことに挑戦し、経験を積んでいきたいと思っています。



Masumi's Voice

皆さんが楽しんで仕事をしているということがわかりました。
 楽しんで仕事をするというのは、言葉にするのは簡単ですが、中々できることではないと思います。皆さん多くの苦労や経験が積み重なって、素晴らしい会社が出来たのだと感じました。私も将来のために、色々なことに挑戦し、経験を積んでいきたいと思っています。

ワーク

業務内容

映像制作をしている会社です。プロモーションムービーや結婚式撮影ムービー、映画撮影などの映像制作、写真撮影、ウェブサイト制作を行っています。また、オリジナルECサイト「ハニカミムービー」などの運営も行っています。

会社を設立した当初の心境と状況

工藤 超大変で、寝る時間もなかったです(笑)。名刺や、商品のサンプルを作ったり、営業に行ったりなど毎日時間が足り

りないと思うくらい忙しくて、本当に大変でした。だからもし起業したいと思っている方がいたら、そういった忙しいことも、大変なことも楽しいと思える人が向いていると思います。

庄内の良いと思うところ

工藤 酒田は風景も良く、ロケ地も豊富で、映像制作をしている業種からするととても恵まれていると思います。様々な撮影をするときに、こんな感じで撮りたいなって思っ、イメージしているものがあると業種的にもいいなと思います。

ライフ



#記念撮影
 #おしゃれな社内

皆さんにとってハタラクとは

小野 私の場合は楽しんでやるということですね。今楽しく仕事ができてるのは、今までのいろいろな経験あつてのことだと思っています。そういった経験を通して、自分でスキルを身に付けてながら楽しんでやるのがいいと思います。

新館

社会に出て働くからには、人のために働く仕事をしたいと思っています。私はクリエイターをサポートする側として働いているので、まずはこの会社のために頑張りたいと思っています。私がサポートすることで、みんながいいものを作り、お客さんが喜んでくれると信じています。そして人を喜ばせたり楽しませたりする仕事っていいなと改めて思っています。

工藤 私にとってハタラクとは人生か

でもということを中心に心がけて対応しています。

「おしゃれをする」という社訓

工藤 映像制作の現場では、常に最先端の機械や技術など取り入れて仕事をしています。そのため普段から最先端の情報やオシャレに敏感になることで、常にお客様に最先端のサービスを提供できるのではないかと思います、この社訓を作りました。

小野 また、お客様から「この人ならオシャレに作ってくれるんじゃないかな」という期待をもってもらえるようにという考えもあります。

映像制作の分野のプロ同士、意見のぶつかり合いはあるのか

工藤・新館 確かにプロとしてのこだわりはそれぞれあるので、意見が割れるときもあると思います。でも社風の中に「否定しない、悪口を言わない」とあるので、相手と違う意見だったとしても、それをすり合わせながらひとつのゴールに向かっていく感覚です。

工藤 みんな多職種から来ているので、常に勉強して学んだことをお互い共有し合っている感じです。

小野 してお互いを理解しようという姿勢があるので、仕事一つにしても、思いやりを持って仕事しているなって感じています。

「ハニカミムービー」を始めた経緯

工藤 会社設立当初からウエディングの映像制作をしていましたが、もっと全国に私たちの商品を発信したいという思いがありました。そこで、もっとお客様が頼みやすくなるようなシステムに改良して、今の形になりました。

新館 お客様とのやりとりはすべてLINEを通して行っています。お客様の表情などが分からない分、常にお客様に寄り添いながら、気軽に・素早く・いつ



#取材中の様子

株式会社庄交コーポレーション



【会社概要】
 会社名：株式会社庄交コーポレーション
 業種：総合サービス業
 設立：平成15年10月
 所在地：鶴岡市錦町
 代表者：代表取締役社長 國井英夫



山本 茜さん
 トラベル事業部 業務課
 平成24年東北公益文科大学を卒業
 勤務年数：7年
 休日：子供と遊ぶ&地元の飲食店開拓



齋藤 大輝さん
 航空事業部 STC 運送課
 平成26年東北公益文科大学を卒業
 勤務年数：2年
 休日：子供と遊ぶ&サッカー

ワーク

事業内容

観光産業と生活産業を二つの柱として、観光物産館やホテル、S・M・A・L・Lなど多くの事業を展開している会社です。庄内地域を拠点に、事業部同士が連携することで、庄内地域の産業を支えています。

入社したきっかけ

齋藤 庄内を拠点に地域の暮らし・発展に貢献できる企業だと思ったからです。航空事業部に入ったきっかけは、飛行機に興味があったからです。単純ですが。

業務内容

山本 私は、旅行業って楽しそうだなと思ったからです。学生の頃にも色々旅行をしていたので、それを仕事にできるのは楽しそうだなと感じ、入社しました。

業務内容

齋藤 仕事は主に、グラウンドハンドリングとグラウンドスタッフの二つの種類に分かれています。グラウンドハンドリングは、お客様の荷物などを搭載車に取り降ろしたり、マーシャリングという飛行機を誘導したりする仕事です。グラウンドス

タッフは、カウンターで出発便の案内業務や、到着便の業務をする仕事です。
山本 経理や事務関係の仕事、ツアーの作成や添乗員の仕事などを行っています。



#お仕事の様子
 #窓口業務 #マーシャリング

仕事を始めるうえで勉強したこと

齋藤 私は航空業界とは全く関係ない業種からの転職でゼロからのスタートでした。入社後は、グラウンドハンドリングの車両資格を取るために勉強するなど、毎日が勉強でした。

山本 私も他業種からの転職で、土地や観光地の勉強、空港のスリーレター（アルファベット三文字の空港の略語）などを勉強しました。添乗員に必要な資格の

勉強など、専門的な知識を覚えるのがとても大変でした。

庄内で働こうと思った理由

齋藤 庄内は生まれ育った土地で、単純に庄内が好きだったということもあります。また、大学の時に地域創生の考え方を学び、地域のために何かできたらと考えたからです。弊社も、地域に根付いた企業です。ね。

山本 私も同じですね。あとは、大学三年生の時に東日本大震災が起きて、こういう大きな災害が起こった時に地元に残ることは、地元の活性化に貢献できると感じたからです。

「コロナの流行に伴って変化したこと」

工夫していること
齋藤 空港を利用するお客様が減ってしまいました。だからこそ利用してくださるお客様を大切にしようと考えています。航空事業部ではマスクとフェイスシールド越しでもグラウンドスタッフの表情や笑顔が分かるようにする訓練をしたり、姿勢やお辞儀の角度的訓練を動画で撮影して改善し合ったりしています。

山本 今までは県外へ行くツアーが多

かったのですが、最近はマイクロツーリズムに力を入れています。コロナ禍で県外に行けないからこそ、地域の魅力を発信しています。

航空事業部のハンドリング業務で大変なこと

齋藤 肉体的な面では、重たい貨物を運ぶことですかね。特に冬場は、寒い中作業するので大変です。

精神的な面で言えば、飛行機を定刻通りに出発させることに特に神経を使います。飛行機が遅れてきた場合も、次のフライトを定刻通りに出発させるためにチームワークを発揮します。

旅行プランを宣伝する際の工夫

山本 チラシとSNSでは見る世代が違うので、新聞や折り込みチラシには年齢が高い世代向けのツアーを掲載しています。一方、SNSには若い世代の人がよく見てくれるので、新聞とSNSで載せるものや魅せ方は変えています。

仕事の中で自慢できること

齋藤 マーシャリングという飛行機を誘導する作業や、後方に進めない飛行機を押し、プッシュバックという作業がで

きることでかかぬ。航空教室で子供たちに見せると、すごく感動してくれます。

飛行機好きにはたまらない仕事だと思っています（笑）

山本 添乗員としての業務の際に、お客様と一緒に全国各地や海外に行けることが魅力的だと感じます。

ライフ

学生時代の思い出

齋藤 私は、大学祭の実行委員をしていたので、入口の看板を作ったり、ワイワイ楽しく活動したりしたことが良い思い出です。

山本 私は、中国や北海道、名古屋など色々な場所に旅行に行きました。あとは、酒フェスなどの有志団体に積極的に参加したことや、プログラミングの課題を夜中まで頑張ったことが、今となってはすごく楽しかった思い出です。

お二人にとってハタラクとは

齋藤 楽しむことが一番大事だと思います。仕事は、辛い時や大変な時もありますが、そんな時こそ楽しまないと仕事に真摯に向き合えないのかなと思って、自分から考えて仕事をし、楽しめたらやりがいも持てますし、働いて

Sumiko's Voice



2年 三ヶ田 珠美子

楽しみながら仕事をすることは、大切なのだと分かりました。また、媒体によって宣伝方法を考えることや、表情や姿勢の訓練をしていることは非常に印象的でした。大学生のうちから色々なことに挑戦していきたくて改めて感じたと共に、子供に自慢したいと思える仕事をしたいなと感じました。

酒田天然ガス株式会社



【会社概要】

会社名：酒田天然ガス株式会社
業種：ガス、電気小売、ガス機器販売
創立：昭和27年10月23日
所在地：酒田市東両羽町
代表取締役社長：有原 敏昭



#事務所内にあるショールーム

入社してからの流れ
小野 入社一年目は必ず技術部に配属になり、ガスの知識や現場での仕事を覚えます。二年目からは営業部に配属され、お客様の要望にあったプランや、サービスの提案などを行っています。お客様の要望に応えるために悩むこともありますが、日々勉強し経験することで、成長しているように感じます。



#お仕事の様子



#ガスメーターの点検
#SNSでの情報発信

酒田天然ガスの強み
梶原 地域密着型というところ。ガス会社は水回りに詳しいので、台所周りはもちろんのこと、今では玄関に至るまで幅広くリフォームも行っています。地域に密着している会社だからこそお客様が困った時や様々なニーズに即座に対応できていると思います。迅速な対応力は他社には負けません。

I・Hの普及によるガス需要の変化
梶原 私が入社した年に東日本大震災があり、酒田市では長時間停電が続きましたがガスは供給し続けました。近年オール電化が増えてきていますが、震災を経験して、ガスと電気の両方を併用する利用方法がいいのではないかと個人的に思っています。

ワーク

業務内容

酒田市内へのガス供給を通じてお客様の暮らしに貢献するガス会社です。都市ガスを中心に、電気、プロパンガスなどのエネルギー供給事業を通じ、地域社会と家庭生活を支えています。

業務内容

家を建てる時のガス管のルートを決めたり、ガス工費を計算したりする仕事を担当しています。

小野 会社のHPやSNSの運営、料理プロモーション動画である「おうちでごはん」の作成、イベントの企画や運営、チラシの作成などを行っています。

なぜ庄内で働くと思ったのか

梶原 関東の方で働くかと思った時もありましたが、社会人として生活していくことを考えたときに、都会の雰囲気よりも地元の方が安心して暮らせるんじゃないかと思い、地元就職しました。

小野 東京の大学に進学して、四年間いろいろな経験をしましたが、東京ではやりたいと思う仕事が見つからなかったため、家族や友達がいる地元で生活して

いこうと思いつきました。

やりがいを感じることは何か

梶原 お客様が新居を建てられるときのガス設備工事に関わり、問題なく工事が完成したときは「無事に終わってよかった」と思います。

小野 私はそんなに現場に出る仕事ではありませんが、ガスを目に見えないのでお客様の中には、怖いイメージや不安を抱いている方もいます。そういったお客様の不安を取り除いて、安心させてあげられた時にやりがいを感じます。

入社当時と現在での心境の変化

小野 入社してガスが供給される仕組みを知り、「ガスを生活の中で重要なポジションにあるんだ」ということに気づきました。そして多くの方にガスの重要性や利便性、安全性などをもっと知って欲しいと思うようになったことが変化だと思います。

梶原 昔はあまり細かいことを気にするタイプではなかったのですが、ガスの点検など細心の注意を要する仕事を通して、少しずつ細かいことにも気がついたり、気を配れたりするような人間になった気がします。

ライフ

働く上での第一優先は

小野 福利厚生ですかね。当社では結婚したら「おめでとう！」子供が体調を崩したら「休んでいいよ！」と言ってお互いに助け合う社風なので、本当に助かっています。やっぱり自分の体調管理や私生活もうまくいかないと仕事もうまくいかないと思うので、生活も充実させた上で働きやすい環境というのが重要だと思います。

梶原 また、会社独自に健康チェックキャンペーンを行っていて、社員の本心と体の健康チェックを定期的に行っているの、自分の健康を見直すきっかけになっています。

お二人にとってハタラクとは

梶原 人生です。生活のために働くということもありますが、働くことで自分の可能性も広がると思うので。

小野 自分がこうなりたいと思ったときや、子供がこうしたいと言った時に応えられるように働いています。なので私にとってハタラクとは、自分や家族のためですかね。

Ami's Voice



2年 橘 愛海

お二人の人の柄や社内の雰囲気から地域を大切にしている気持ち、それと同じくらい地元の方からも愛されているのが伝わってきました。普段何気なく使っていたガスに、たくさんの方が関わっていて重要な役割を持っていることが分かりました。



ガスタンクの最大容量は、2基の合計30,000㎡で、この量は平均的なご家庭1軒の使用料の113年分に相当します！

Hataraku's Voice

- お客様だけでなく、社員の方々もワクワクしながら働くことが出来る職場作りをされていることが印象的でした。
- 一切妥協のない漬物作りが、大ヒット商品を数多く生み出しているのどと感じました。また、研究室の様子から、研究に力を入れて入れていることが分かりました。
- 山形県外出身という事もあり、庄内にこのようなすごい会社があると知らなかったのが驚きました。今度スーパーで商品を探してみたいと思いました。



11:00~12:00 所在地：庄内町廿六木 株式会社マルハチ

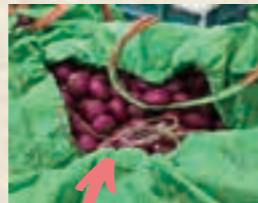
農作物の漬物製造会社。



小さくともキラリと光る企業を目指し、「研究開発」「契約栽培」「安心安全・高品質」「新しい漬物」にこだわる。健康をキーワードに、女性を中心とした商品開発会議を週1回行う。「雪ん娘」「若もぎ小茄子」が有名。第12回山形県漬物展示品評会で「山形のだし」が農林水産大臣賞を受賞。

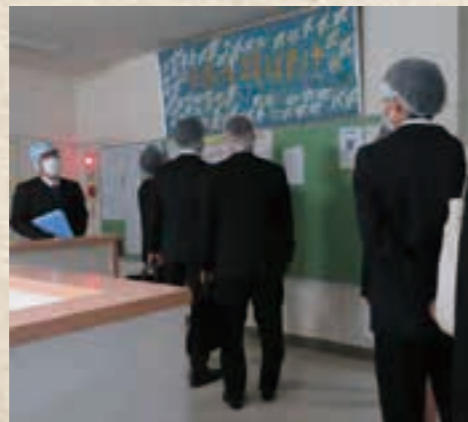


契約農家さんと良い関係を築くことで、より美味しい漬物作りを実現しています。



漬物用のコンテナと袋が大量に！
美味しい漬物は美味しい野菜から。

山形の味を全国に広めて地域に貢献することで、消費者だけでなく生産者の方にも喜んで欲しいです。



12:00~13:15 昼食 庄内町「和心食事処」にて



庄内地域企業見学バスツアー 東北公益文科大学 9:20 Start!



「ミスをしないためにも、分からない事は積極的に聞く事が大事」

数字に関するミスは特に気をつけており、数人でチェックしています。



社会人には、学び続ける姿勢が大切。

10:00~10:45 所在地：酒田市飛鳥 酒田ふれあい商工会



商業系の中小企業へ経済的支援を行う公益法人。

地域と密接な関係を築き、多くの方に支援をして地域企業や社会の発展と振興を目指す。「組織レベルで同じ方向を向き、関係するすべての人が一緒になって物作りする志」を大切にしている。

会員さんのために何が出来るのかを考えて、生活のありとあらゆる事にアンテナを張っています。

会員の皆様に還元できるように仕事を頑張っています。



商工会のイベント・商品紹介チラシや商工会報の作成などもしています。

使用する写真もこだわりを持って、自分たちで撮影を行っています。

Hataraku's Voice

- 事業者さんの支援や地域振興を密接した形で行い、「ありがとう」と言われることにやりがいを持てることを知れました。
- 自分が成長するためには、色々なことにチャレンジして、経験を積むことが重要だと思いました。
- 「分からないことは恥ずかしいことではない」という言葉から、今後は積極的に質問することを大切にしようと思いました。



Hataraku's Voice

- 海外拠点が充実している事から、グローバルな人材が必要とされてくると思いました。
- ひとつひとつ丁寧に作られている所を見て、根気のある作業だと思いました。また、これからの未来に重要な仕事だと感じました。
- 従業員の方々の男女比に偏りがなく、見学の際にも女性の方が多いので、女性でもバリバリ活躍できる会社なのだと感じました。



15:15~16:45 所在地：鶴岡市下清水 スズモト株式会社



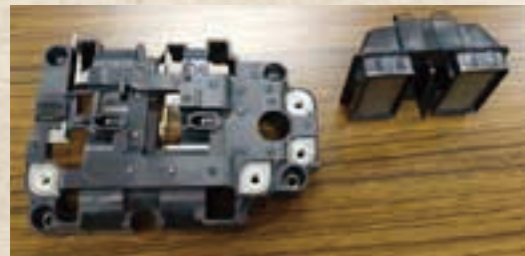
自動車の部品など、プラスチック射出成形用金型の設計・製品製造を行う会社。「創意工夫・誠心礼節」が社訓。香港・ベトナムなど海外に拠点を持つ。企業が企業に物を売る「B to B」を行い、人々の安心・健康と地域環境との調和を目指すという、環境活動にも力を入れている。



製品の製造方法を分かりやすく説明すると「金型」=たい焼き器溶かしたプラスチック=生地イメージです。

製造中は様々な音が飛び交い、従業員の方のほとんどが、帽子と耳栓を付けていました。

「多くの機械を稼働させることで、作業効率・技術を向上させています。」



製品のサンプルを実際に持たせてもらいました。また、自動車部品だけでなく、風呂桶なども製造されています。



Many thanks!

東北公益文科大学 17:00 Finish!



エアシャワーで衛生面にも気を配っています。



一貫生産体制により、外気に触れることがなく、安全性が高いです。働く上で肉の知識は必要ですが、新人は仕事をしながら覚えます。「豚肉は骨も含めて、捨てる場所がない」



食料工場用白衣と帽子を身につけて見学しました。



「元"氣"」のみなもと・社会作りに貢献しています。

命をいただいている事に対して、感謝の気持ちを忘れないで欲しいです。



13:30~14:30 所在地：庄内町家根合 株式会社大商金山牧場

食肉製造・加工・卸売業を行う会社。

「米の娘ぶた」が有名。社員の意見がきっかけで、金山町に「米の娘家」が誕生。衛生面に細心の注意を払い、作業効率化や女性でも働きやすい環境にするために作業の機械化が進んでいる。バイオマス発電事業などの、持続可能な社会を目指した様々な取り組みを行っている。

Hataraku's Voice

- お肉のカットをしている行程を見学させていただき、このような仕事をされている方のおかげで、私達が食べているお肉が提供されているのだと改めて感じました。
- 実際の加工現場を見て、より命の尊さやありがたさを感じることができました。
- なるべく手が触れないように自動ドアになっているトイレを見て、徹底した衛生管理の仕組みに驚きました。



あとがき

ハタラクカタチ第3号をお読みいただき
ありがとうございます。

今回は社長・社員インタビューに加え、
庄内地域企業見学バスツアー編も掲載しました。
インタビューを通し、庄内の魅力、また庄内で
働く魅力を改めて知ることが出来ました。
やりがいを持って仕事をする方々のお話を伺うこ
とができ、将来、自分の仕事に誇りをもって
働ける大人になりたいと思いました。

企業それぞれの熱い思いが
これからの庄内を担う若者に届くよう、
今後も活動していきます。

取材に協力していただいた皆様、
本当にありがとうございました。

メンバー紹介

- 3年 池田詩穂
- 2年 小林龍永 佐々木美里 鈴木遥 伊藤美羽
関明日香 橘愛海 長谷川琴音 三ヶ田珠美子
- 1年 小野寺緋彩 柿崎百花 佐藤真純 滝口結斗



1年生とミーティング



インスタ紹介用
取材にGO!!



お酒の攪拌
作業を体験中



📷取材前にパシャリ!



昔使っていた樽は大きい!



お礼状作成中

ハタラクカタチとは

東北公益文科大学地域共創センターでは、平成 31 年度より大学生の視点から庄内地域の企業研究を行い、学生たちにとって魅力ある職場取材を通して、収集した情報を若者向けにわかりやすく発信する「ハタラクカタチ」プロジェクトに取り組んでいます。

取材の際は、できるだけ【ワーク】と【ライフ】両方の視点から『人生の先輩方のハタラクカタチ』を追求したい、『庄内で働き、生活することの魅力』を発信したいというねらいで本冊子を作成しました。

令和 3 年度は、13 名の学生がプロジェクトメンバーとなり、昨年度までの活動に加えて「庄内地域企業見学バスツアー」に参加した記事もまとめました。

趣旨に賛同をして下さいました企業様のあたたかいご協力により本冊子が完成しました。

本当にありがとうございました。

◎制作・編集
東北公益文科大学 ハタラクカタチプロジェクト

◎発行
令和 4 年 3 月 東北公益文科大学 地域共創センター
〒998 - 8580
山形県酒田市飯森山 3 丁目 5 番地の 1
電話：0234 - 41 - 1115
FAX：0234 - 31 - 2082
Email：kyoso@koeki-u.ac.jp

ハタラクカタチ vol.1 vol.2 は

コチラから



vol.1



vol.2



この冊子は令和 3 年度公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)の支援を受けて作成しました。

オススメサイト

ショウナイズカン

山形庄内の暮らしと仕事に出会う。就職、転職、Uターンを支援するWebサイトです。



<https://www.shonai-zukan.com/>

BIGJOB 庄内

庄内の求人情報、庄内地域の企業情報を紹介しています。



<https://shonai.bigjob.jp>

山形県就職情報サイト

山形県内の企業や求人情報が満載。先輩のインタビュー記事も掲載！



<https://www.shushoku.yamagata.jp>

つるおか仕事ナビ

「鶴岡ではたらく」をサポート。就活に役立つ企業からの情報が満載！



<https://job-tsuruoka.com>

ヤマガタ仕事ラボ

「山形と関わるためのアクション」を起こすきっかけを提供するWebサイトです。



<https://shigoto.mirailab.info>

酒田市UIターン人材パーク

あなたの「酒田で働きたい！」を支援します。



<https://www.city.sakata.lg.jp/smph/sangyo/roudo/koyosokushin/uijturnjinzaibank.html>

いいね！庄内の企業

庄内地域の素晴らしい企業を知ってもらうために、SNSで発信しています！



<https://www.pref.yamagata.jp/337041/sangyo/rodo/koyotaisaku/191226iinekigyoo.html>

キラリと光る！ 山形県村山地域の企業

学生の視点から山形県村山地域の企業がもつ魅力をSNSで情報発信しています！



<https://www.pref.yamagata.jp/sangyo/sangyoushinkou/murayamachiikigyou/index.html>

もがみ仕事の魅力ガイド

最上地域の経営者とそこで働く若者にインタビューしたガイドです！



<https://mogamijuu.wixsite.com/mogami/bla-nk-18>

技あり米沢

山形県米沢市のものづくり企業サイト！皆様の熱い想いをかなえます。



<http://wazaari.biz>

HATARAKU

KATAACHI